

社内データと対話する生成AI

法人向けRAG

OfficeBot

Microsoft Azureの最先端のAIサービスをインテグレート



Azure OpenAI Service



Microsoft Azure



Azure AI Search

社内データと対話できれば仕事が捗る!



検索精度が
高い

リーズナブルな
料金で安心

生成AIを
毎日仕事で
活用してます

とにかく
情報共有が
捗る!

運用が
カンタン

多くの企業がRAGを活用し社内DXを推進しています

問い合わせ対応の効率化

ナレッジマネジメント

情報資産の活用

検索環境の改善

仕事の属人化の解消

OJTの効率化

2023年3月～2024年2月の1年間で

500社導入

※RAG=Retrieval Augmented Generationとは
検索拡張生成。インターナルな質問に対して、関連する知識データを検索し、その情報をプロンプトのコンテキストに加えた上で、言語モデルに回答文を生成させる手法。事前学習された大規模言語モデルに新たな知識を学習させる従来の手法「Fine Tuning」に対して、非常に簡便で経済的に言語モデルの信頼性を向上させる技術として2020年に発表された技術。

STEP 1 社内データを管理画面からアップロード



STEP 2 社内データとの対話環境が実現

まずは気軽に質問！



ユーザー

正社員が取得できる有給休暇の日数を教えてください。

質問に相当する情報を登録ドキュメントから探してわかりやすく説明してくれる



OfficeBotくん

正社員が取得できる年次有給休暇の日数は、勤続年数によって異なります。勤続年数1年の場合は11日、2年で12日、3年で14日、4年で16日、5年で18日、6年以上で20日が付与されます。ただし、これは所定労働日の8割を勤務した者に対する日数であり、20日を限度としています。また、勤続年数の算定にはグループ間の異動も通算されます。

出典：1.正社員就業規則.pdf

根拠も提示してくれるので手早く
ファクトチェック可能

連続会話制限5回/残数4回

続けてどんどん質問！



ユーザー

契約社員の場合は？読みやすく整理して教えてね。



OfficeBotくん

契約社員が取得できる年次有給休暇の日数は、勤続年数と年間の所定労働日数に応じて異なります。具体的には、半年間継続勤務し、算定期間内の所定労働日の8割以上を勤務した契約社員に対して、以下のように年次有給休暇が付与されます。

- ・年間所定労働日数が217日以上 週5日以上勤務の場合：
 - ・勤続6ヶ月：10日
 - ・勤続1年：11日

会話の流れを汲み取って
臨機応変に答えてくれます



質問を入力してください...



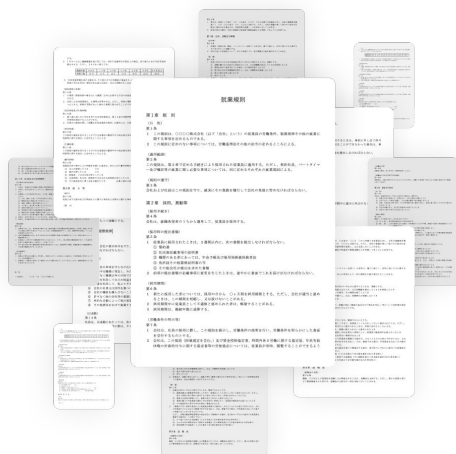
Powered by OfficeBot

ChatGPTが「自社のことを何でも知っていて何でも 答えてくれるAIアシスタント」に早変わり

人事・総務部門での活用例

社内規定を活用

就業規則の確認、勤怠の手続き、備品の利用申請、ワークフローなど、日々の業務の中で会社のルールや手続きの方法を調べるシーンは多々ありますが、その度に「その情報、どこにあるの？」と情報の迷子になったことはありませんか？OfficeBotなら関連資料をアップするだけでその問題が簡単に解決します。



在宅勤務をする場合はどんな手続きや申請が必要ですか？

在宅勤務を行う場合は、前日までに所属長の許可を得る必要があります。また、会社は業務上の必要により社員に対して在宅勤務を命じる場合があります、この場合も前日までに本人に通知します

出典：在宅勤務規定.pdf

その際、残業したらどうなるの？

在宅勤務の場合でも残業代は支給されます。在宅勤務時に時間外、休日及び深夜の労働については、給与規程に基づき、時間外勤務手当、休日勤務手当及び深夜勤務手当を支給すると規定されています

出典：在宅勤務規定.pdf

残業した時間はどうやって申告すれば良いの？

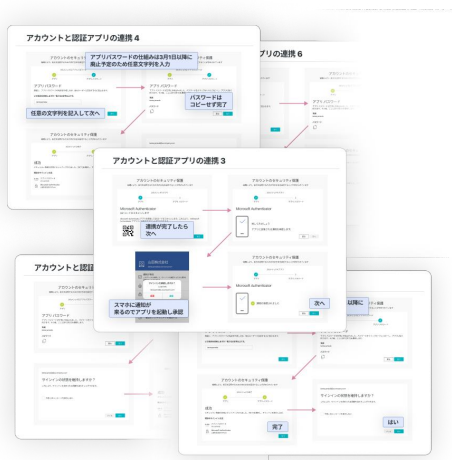
在宅勤務時は、勤務の開始及び終了について次のいずれかの方法により報告しなければならないとされています。報告方法は電子メールあるいは勤怠管理ツール、またその他会社で定めたツールで行ってください

出典：在宅勤務規定.pdf

情報システム部門での活用例

システム操作手順書を活用

会社では様々なITシステムやサービスを活用して業務の効率化が図られていますが、それに連動して発生するトラブルシューティングの工数は決して小さいものではありません。「マニュアルを確認してもらえば簡単に解決するのに...」と感じたことはありませんか？OfficeBotはそんな課題をすぐに解決します。



Authenticatorアプリを複数の業務端末で利用することはできる？

はい、可能です。Authenticatorアプリを2台目の業務端末に設定することが可能です

出典：Authenticatorアプリ設定手順書.pdf

その手順を教えてください。

ダッシュボードが表示されている状態からセキュリティ設定を行うには、以下の手順で操作してください。

1. Authenticatorアプリを立ち上げ、右上の「+」を押下します。
2. 「アカウントを追加」画面で「職場または学校のアカウント」を押下します。
3. 「サインイン」を押下し、IDとパスワードを入力してください。
4. そこで表示された番号をAuthenticatorアプリが設定されている1台目の業務端末に入力してください

出典：Authenticatorアプリ設定手順書.pdf

営業部門での活用例

問合せ履歴を活用

顧客や取引先から毎日のように寄せられる自社の製品やサービスに関する様々な問い合わせ。誰かが対応したノウハウを、他の誰かも手軽に活かすことができれば、チームの生産性は飛躍的に向上し、顧客満足度も自ずと向上するはずです。OfficeBotを導入することで、そんな環境を簡単に手に行うことができます。



管理画面にIP制限はかけられますか？

はい、可能です。管理画面にアクセスし、セキュリティ設定の画面でIP制限またはBasic認証の設定が可能です

出典：Basic認証 対応履歴.xlsx

ダッシュボードが表示されている状態から、どうやって操作すればよいの？

ダッシュボードが表示されている状態からセキュリティ設定を行うには、以下の手順で操作してください。

1. サイドメニューから「管理」を選択します。
2. 表示されたメニューの中から「セキュリティ設定」を選択します。
3. 「管理画面のセキュリティ設定」ではIPアドレス制限などが行えます。
4. 設定を保存するには「設定を保存する」ボタンを押下します。

詳細な設定方法については、管理画面マニュアルのセキュリティ設定の項目を参照してください

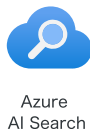
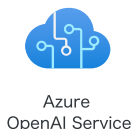
出典：セキュリティ 対応履歴.xlsx

導入実績（一部抜粋）



特徴1 読取・検索性能が高精度

Azure OpenAI Searviceに加え、Azure AI Searchをはじめとした最先端のAIサービスをインテグレート。独自の設定、チューニングを施すことで、従来製品と比較しRAGの性能を大幅に向上。これにより**多くのOfficeドキュメント**を扱えるようになりました。



特徴2 滑らかな対話

研究・検証を重ねて考案した独自のプロンプト調整により、回答に至るプロセスの最適化と文脈を考慮した対話機能を実現。これにより、**対話を繰り返すことで求める情報に到達できる、ユーザーの質問リテラシーに左右されないUXを実現**しました。



特徴3 リーズナブルで分かりやすい料金体系

初期費用	検索インデックスデータ容量		金額
	Embedding 2GB (平均1MB/File x 2,000 File 相当)		100,000円
月額費用	モデル	月間 総質問回数	金額 → キャンペーン実施中
	gpt-3.5-turbo	～3,000回 (3,000万token相当)	125,000円/月 → 50,000円/月 ※ご利用開始後3ヶ月間の限定価格
		3,001回～	ASK
	gpt-4-turbo	～3,000回 (3,000万token相当)	250,000円/月 → 150,000円/月 ※ご利用開始後3ヶ月間の限定価格
		3,001回～	ASK
オプション	データ検証・改善サポート (利用開始後3ヶ月間)		一括 300,000円

よくある質問

- Q 他のRAG型のサービスと何が違うの？**
- A** 数多くの実績に基づく検証・実証を踏まえ、Azure AI Searchに独自のチューニングを施した上で、会話履歴を考慮した質問応答を可能にするプロンプトを実装。解釈性が高く滑らかな対話環境を実現したことにより、汎用性が大幅に向上しました。
- Q Microsoft Copilotとどちらを使うのが良いの？**
- A** Microsoft CopilotはMicrosoft社が提供する『Copilot for Microsoft365』で利用可能なMicrosoft Graphベースのチャット機能で、Microsoft 365内のコンテンツを横断して質問応答できるのがメリットです。一方で『OfficeBot』はAzure AI Searchにて個別にインデックスが作成されることでより質の高い質問応答が可能になるとともに、利用人数によってはランニングコストに大きなメリットが出ることもポイントです。

お問合せ先

運営会社：ネオス株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-1

🌐 <https://officebot.jp/>
✉ is_officebot@support.neoscorp.jp
☎ 050-2018-6240

